

2022フクハラ杯スプリングフェスティバル

兼 第26回とかちU-12サッカー大会

開 催 要 項 (修正版)

- | | | |
|----|-------|---|
| 1 | 主 催 | 十勝少年サッカー連盟、株式会社福原、丸大食品株式会社 |
| 2 | 主 管 | 十勝少年サッカー連盟 |
| 3 | 共 催 | (一社)十勝地区サッカー協会 |
| 4 | 後 援 | 十勝教育局・十勝スポーツ少年団本部・帯広市教育委員会 |
| 5 | 協 賛 | 北海道キリンビバレッジ株式会社 |
| 6 | 期 日 | 2022年5月4日(水祝)・5日(木祝) |
| 7 | 会 場 | 十勝川運動広場内(帯広市東10条南2丁目先) 十勝川河川敷サッカー場(芝8面) |
| 8 | 参加資格 | <p>① スポーツ傷害保険に加入していること。</p> <p>② 6年生を中心としたAクラス1チームとする。</p> <p>※ 感染対策の一つとして、6年生の登録人数が14名以上のチームには事前に希望を取ったうえで2チームでの参加も認めております。</p> <p>③ 審判員を確実に2名帯同できるチームとする。(帯同1名での参加は認めない)</p> <p>※例年、当日になって1名しか来ていないというチームがありますがお断りします。</p> <p>④ 十勝管内のチームは、会場設営等に協力出来るチームに限る。</p> <p>⑤ 申込みが確認された先着64チームまでとする。</p> <p>⑥ 新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを遵守できるチームに限る。</p> |
| 9 | 競技規則 | <p>① (公財)日本サッカー協会8人制サッカー競技規則による。</p> <p>② 競技のフィールド 縦68m×横50m・ペナルティエリアの縦12m・ゴールエリアの縦4m・ペナルティマーク8m・ペナルティアーク7m</p> <p>③ 試合球は少年用4号(公認球)とする。</p> <p>④ スパイクシューズは危険を避けるため取替えポイントでないものとする。</p> <p>すねあてを着用すること。</p> <p>⑤ 競技者の数は8人(内1人はゴールキーパー)とし、6人未満となった場合は不成立。</p> <p>原則としてチームの構成は引率指導者3名、選手20名以下(女子の参加可)とする。</p> |
| 10 | 競技方法 | <p>① 1次ラウンドは4チーム1ブロック程度のリーグ戦とする。</p> <p>2日目は順位別のリーグ戦を行う。(トーナメント方式はなし)</p> <p>※午前と午後に分けて開催し、昼を境に参加全チームを入れ替える。</p> <p>1チーム1日あたりの試合数は最大3試合までとする。</p> <p>② 順位決定方法は、勝ち点(勝ち3、分け1、負け0)の順とするが、</p> <p>並んだ場合は得失点差・総得点・当該チームの戦績・抽選の順で順位を決定する。</p> <p>③ 審判は4人制とする。(参加資格③、審判員各項目、その他⑤参照)</p> <p>④ 選手交代は、自由な交代とする。</p> <p>⑤ ユニフォームを着用すること。正副2種類を用意し、対戦チームと確認すること。</p> <p>※対戦チーム同士のユニフォーム色が重複し対応が困難な場合に限り、</p> <p>ビブス着用での試合参加も認めることとする。</p> |
| 11 | 組み合わせ | 大会事務局で厳正に抽選し、後日電子メールにより送付する。 |
| 12 | 審判員 | <p>① 組合せ進行表に審判割当てを記載する。帯同審判員は割当て通りに対応すること。</p> <p>② 指導者が審判員を兼ねている場合でも審判活動を優先すること。</p> <p>③ 1名しか帯同しないチームの参加はお断りします。また相手チームと勝手に話し合いをし、相手チームに3名の審判を求めたりするのもお断りします。</p> <p>④ 審判服を着用すること。審判服のままベンチに座ったりすることのないように。</p> <p>何か羽織るか上位を脱ぐかに対応。</p> |

- 14 感染症対策 【重要事項】本大会は大会期間を通じて新型コロナウイルス感染症対策として、以下の対応をとるものとする。
- ① 基本的に有観客での開催とするが、観客は当該チームの関係者に限定する。
また、今後の状況によっては無観客とする場合がある。
その際、来場者の上限人数は 選手20名、指導者3名、帯同審判2名、引率保護者3名とする。
 - ② 来場者は全員、2週間前からの健康状態を記載したHKFA指定「健康チェックシート」を大会本部に 提示し 確認を受けること（チーム代表者1名が本部へ持参する）。
「健康チェックシート」の確認は1日目、2日目の両日とも会場入り次第に行うこと。
また、健康チェックシートは確認後に返却するため各チームで一定期間保存すること。
 - ③ 本大会は大会期間を通じて大会本部にて「感染対策担当者」を設置する。
選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
 - ④ 本大会実施にあたり、最新版(公財)北海道サッカー協会発出「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」を遵守し、参加選手および関係者はチェックリストによる確認を行う。
 - ⑤ 各チームは感染対策担当者を1名配置し、健康チェックシートの提出をはじめ、感染対策に関わる全般の対応にあたる。
 - ⑥ 選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に、各チームの感染対策担当者と会場責任者とでミーティングを実施する。
 - ⑦ ソーシャルディスタンス及びマスク着用を徹底すること。
アルコール消毒・検温にも必ず協力すること。
 - ⑧ 会場内での食事は禁止する（ゼリーなどの補助食品は認める）。
 - ⑨ 試合中の指導者による大声でのコーチング、ベンチからの応援は控える。
また、観客席からの応援は拍手のみとし声を出しての応援は禁止する。
 - ⑩ 新型コロナウイルス感染症の拡大による制限などにより、大会の中止、試合途中での中止、大会日程の延期などの場合がある。
 - ⑪ 本開催要項にない事例に関しては主管地区協会4種委員会において判断し対処する。
 - ⑫ 大会参加チームは新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者が出た場合は、本大会運営委員会において協議の上、対処する。
 - ⑬ 下記の禁止事項、注意事項を遵守すること。
 - ・ 試合前、試合後の相手チーム、審判団との握手は実施しない。
 - ・ 身体を密着させる 円陣は組まない。
 - ・ 得点時にハイタッチ、抱擁等を行わない。
 - ・ 試合開始前の審判団による選手チェック及び用具チェックは、審判員はマスク着用とする。
 - ・ ピッチ上で選手同士や審判員との会話でも、お互いの距離を保つよう配慮する。
 - ・ ベンチではマスクを着用し、会話を極力控えること。
 - ・ 試合終了毎に自チームの使用したベンチの消毒を行うこと。
- 15 その他
- ① 開会式は行わない。
 - ② 閉会式は2022年5月5日(木祝) 12:15(午前の部)、16:45(午後の部)よりA～Dコート側の本部席前で行う。各ブロック1位の指導者と選手2名のみの参加とする。
 - ③ 閉会式にて2日目の各ブロック1位を表彰する。
 - ④ 歓迎レセプションは行わない。
 - ⑤ 大会当日に新規審判講習会を行う場合があります。
その際は審判割当てが変動することもありますのでご了承ください。